

I.取組状況

0 序文

2025年10月1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、J Aグループの理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、「組合員・利用者の皆さまに安心なサービスの提供を通じて豊かな生活づくりに貢献」するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

本渡五和農業協同組合

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ 組合員・利用者の皆さまに對面金融商品販売の際には、適合性チェックシートを活用して適切に販売しております。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを含め、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- ・ なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

<商品選定の考え方>

1. 長期投資を前提とした投資信託であること
2. 手数料が良心的な水準であること
3. 過去の運用実績が相対的に良好であること等

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスの取れた総合保障の提供を通じ、組合員・利用者の豊かな生活の実現に貢献するため、最良・最適な共済保障・サービスの提供を行っております。
- 住宅価格の高騰により、連帯債務の住宅ローン利用者が増加を受け、従来よりも手厚い保障が可能となる団体信用生命共済の連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 市場リスクがある共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は7月末時点で95.0%となっており、前年同月の91.7%を上回っている状況にあります。
- 共済事業においては、全共連と共同の事業運営を実施しており、お客さまの声や顧客情報等については相互に連携しております。

I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

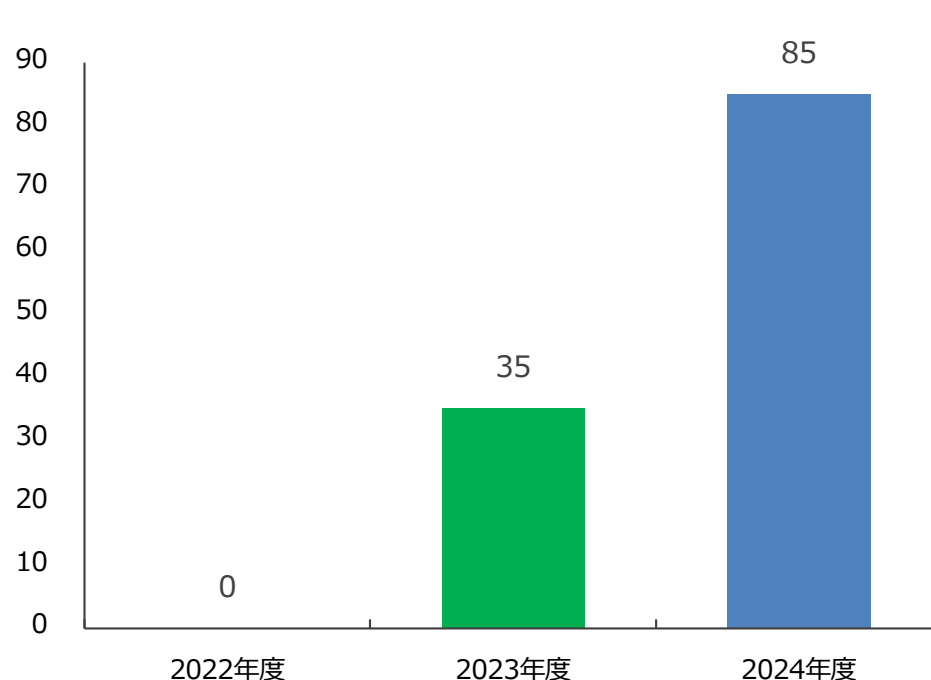
(1) 信用の事業活動

【原則 2 本文および(注)、原則 5 本文および(注 1～5)、
原則 6 本文および(注 1～7)】

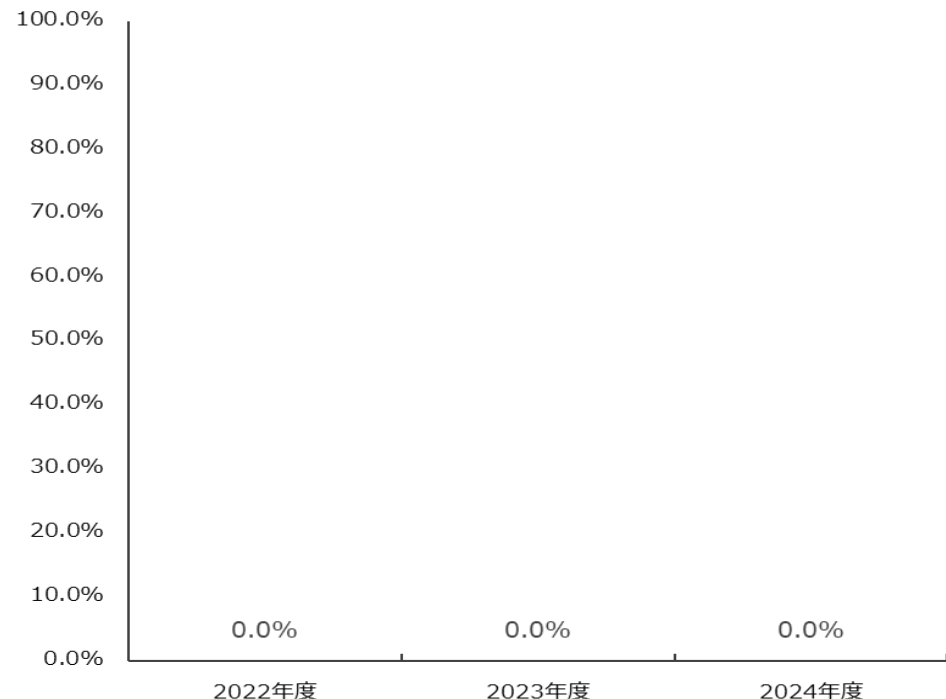
組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が 85 件となり、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率は、0.0%でした。

<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



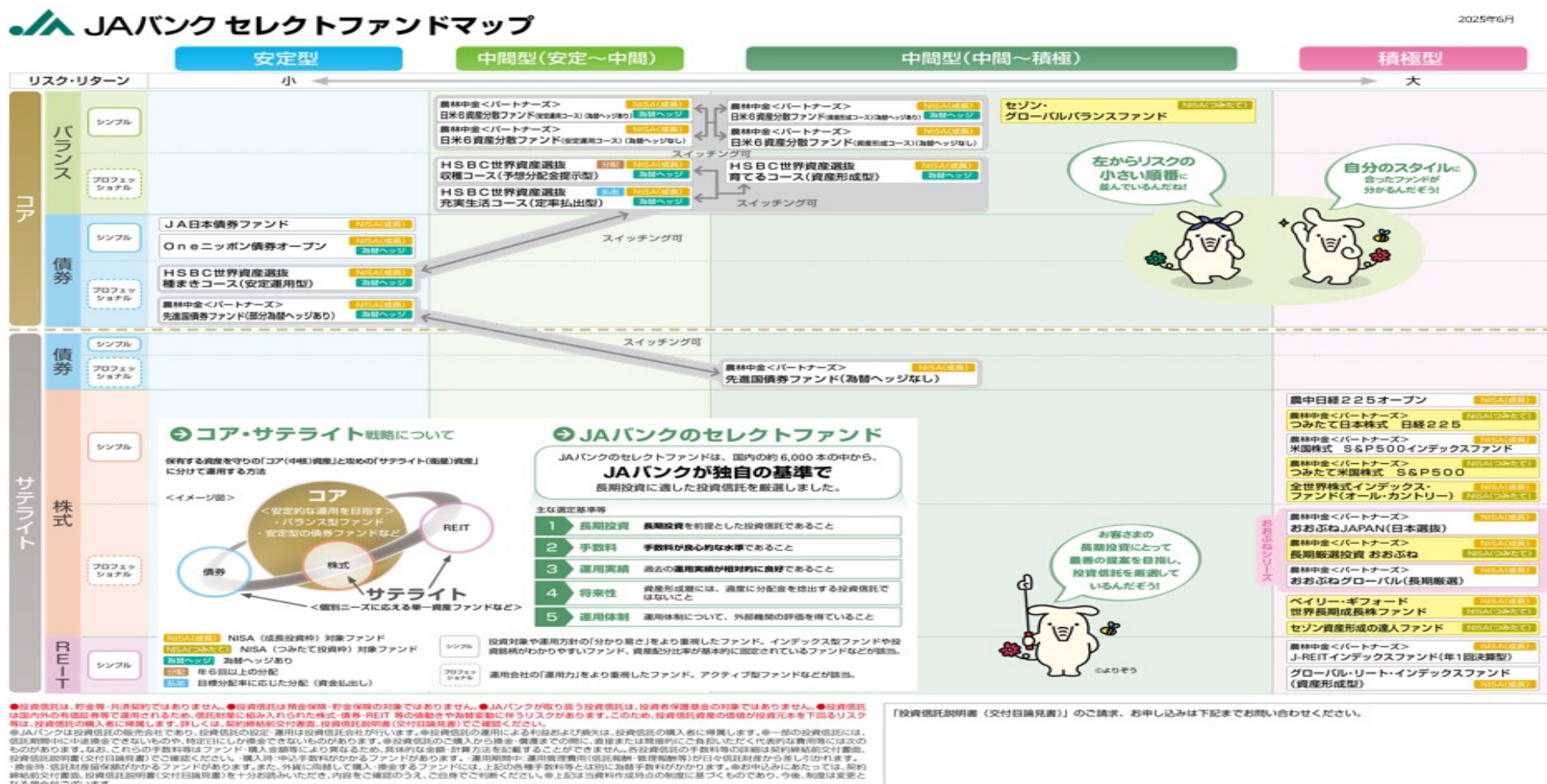
I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（1）信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップを活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2023年10月から重要情報シートを導入しております。



I. 取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

・3Q活動を展開し組合員・利用者の皆さま一人ひとりに寄り添い、安心と満足を提供するため、以下の活動に取り組めます。①組合員・利用者の皆さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、お客さま一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最良・最適な保障・サービスを提案します。②保障の加入にあたっては、お客さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご納得・ご満足いただけるよう、わかりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施します。③特にご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧にわかりやすく説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細かな対応を行います。④なお、保障の加入にあたり、共済掛金のほかに組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料はございません。⑤当組合は、共済にかかる各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまにわかりやすい説明を心がけるとともに、ご相談に対して迅速に対応します。

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

当組合は、研修や資格取得の支援等を通じて高度な専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

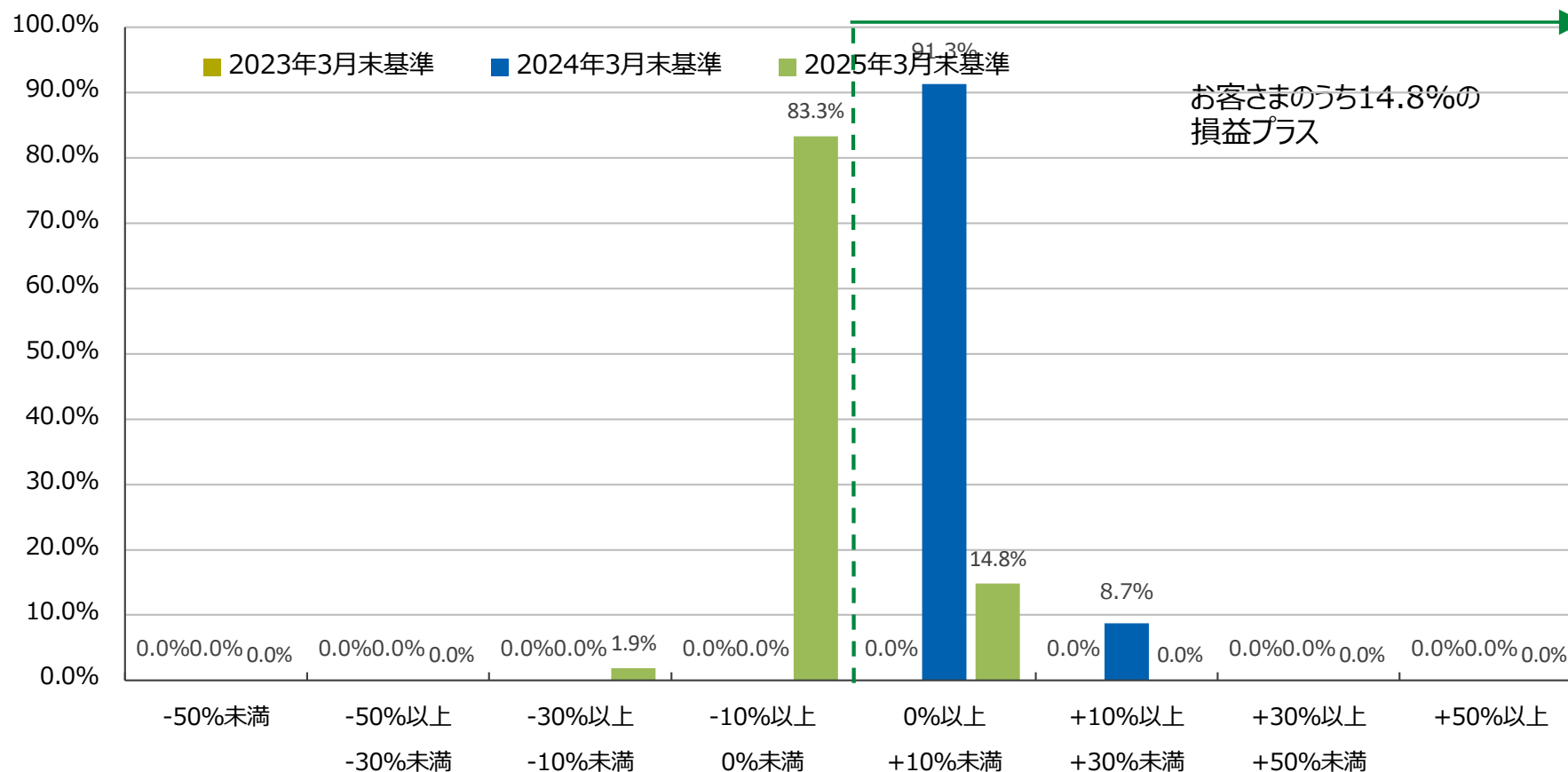
専門性を有した人材の育成を図るとともに、資産形成・資産運用に精通した担当者を幅広く育てるため、各種研修会や勉強会を定期的で開催するなど継続育成に努めます。

また、お客さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に努めます。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

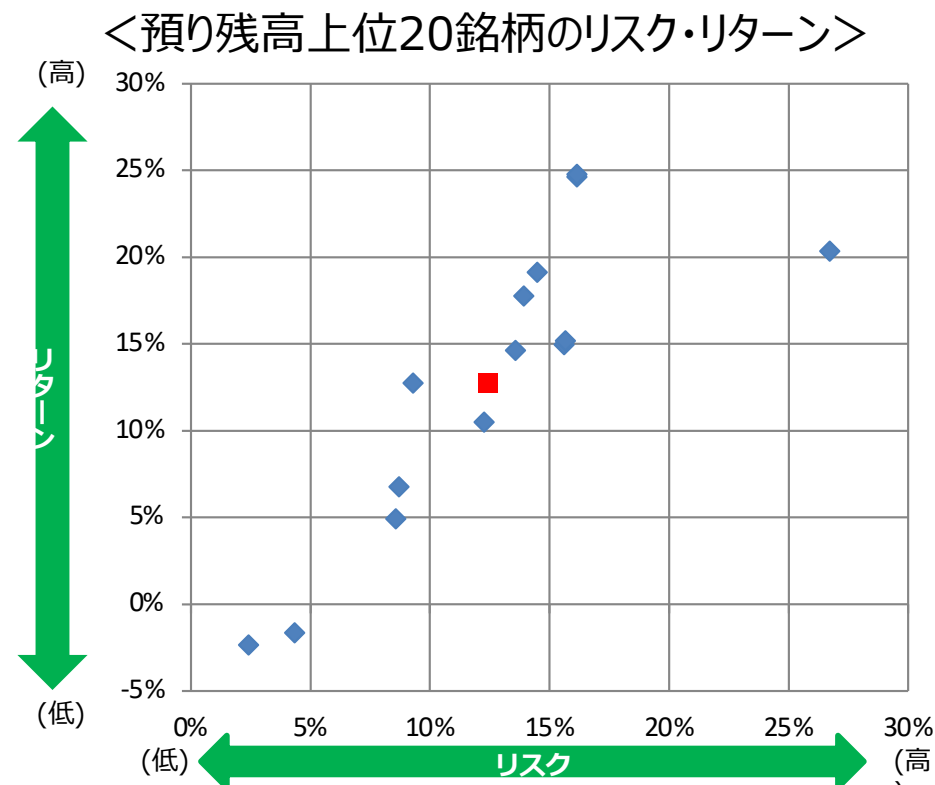
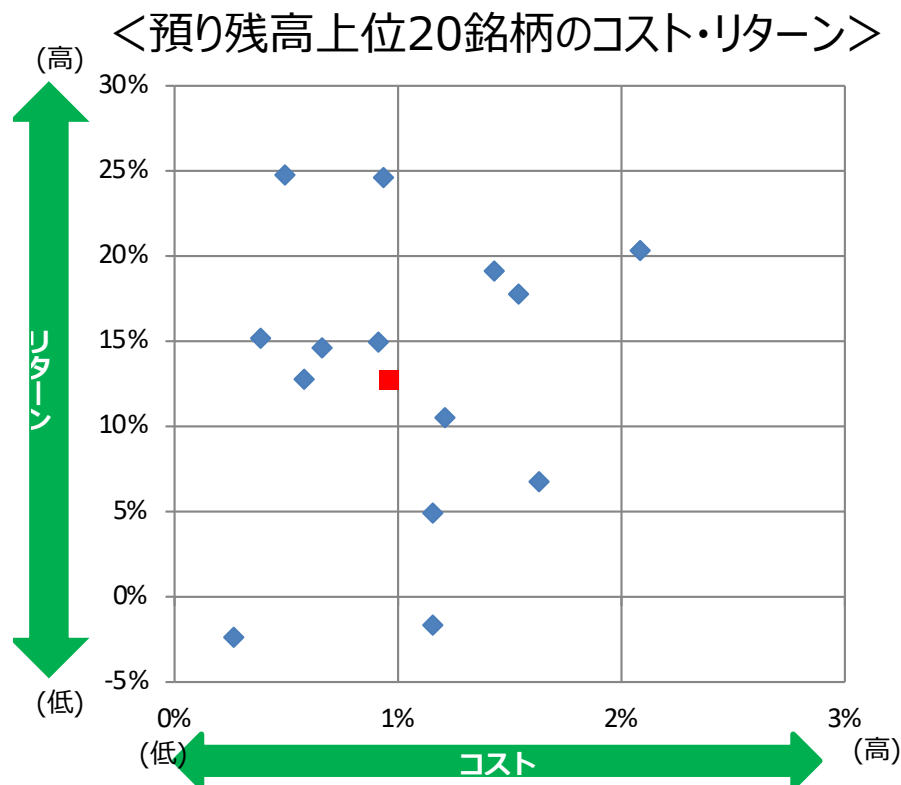
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の14.8%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2025年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.1%、平均リスク13.93%に対して、平均リターンは17.89%でした。



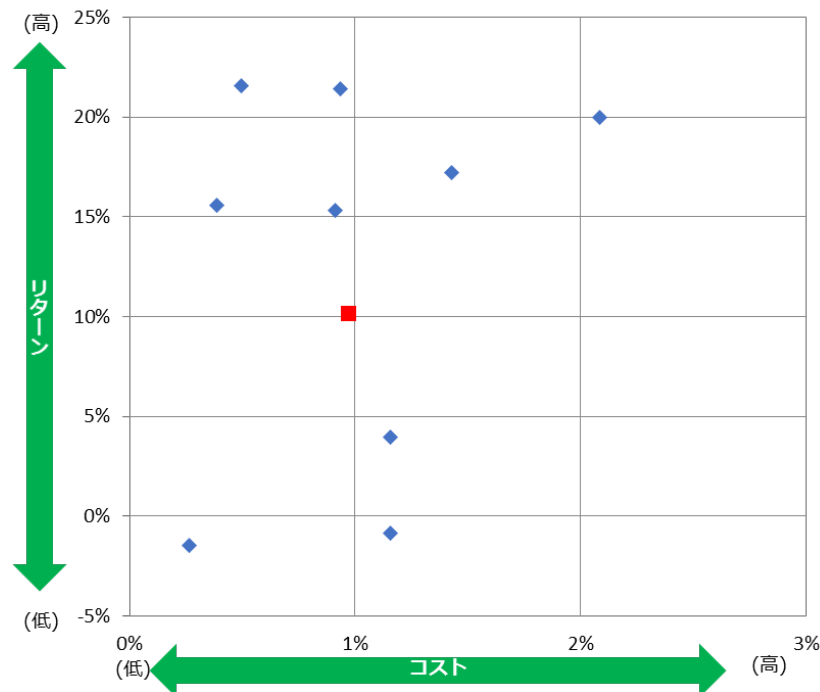
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

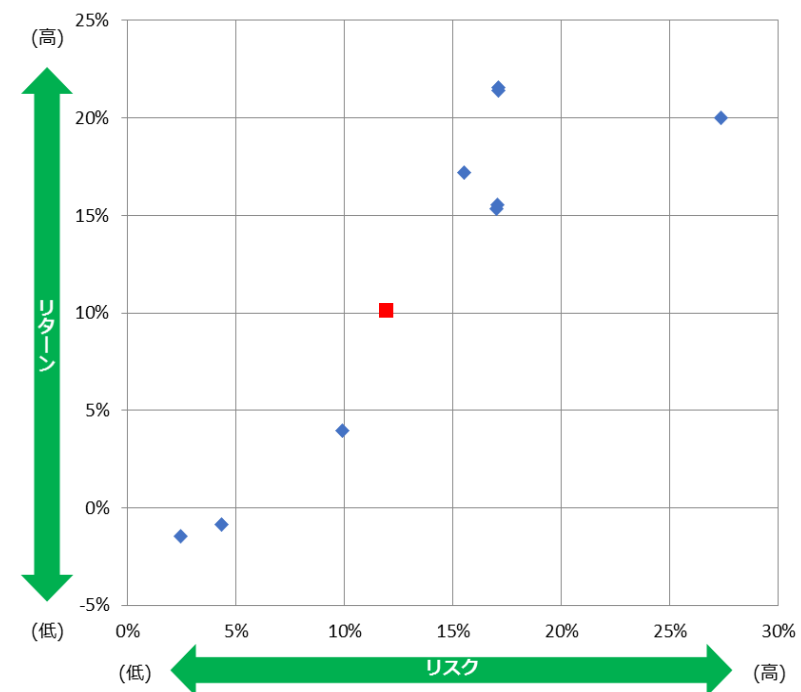
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/2）（2024年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.97%、平均リスク11.93%に対して、平均リターンは10.13%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
4	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
5	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
6	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
7	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
8	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
9	おおぶねJAPAN(日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
10	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
11	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
12	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
13	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
14	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		12.70%	12.44%	0.96%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は16本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。